

問 避難訓練で 参加者から出た意見は

答 情報発信のあり方を見直して

豊創会 阿部 功志 議員



問 7月30日の避難訓練は、参加者からの意見も踏まえ、問題点をどう洗い出したか。

答 情報発信のあり方を重要視。防災無線や緊急速報メール、SNSなど多様な手段で発信したが、文字数の制限などがあるなかで分かりやすく伝えるためには、日ごろからの普及啓発が必要だ。

問 次の避難訓練はいつか。

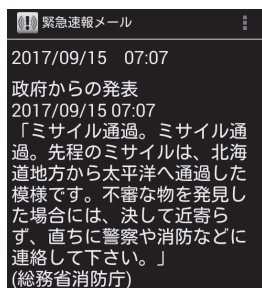
答 未定。避難先3市との調整後、避難所運営訓練などを実施したい。

問 Jアラートに対する本村の対応は

答 村ホームページで説明

問 原発をかかえる本村の対応を伺う。

答 村のホームページでJアラートの仕組みやミサイル落下時の対



原発へのミサイル攻撃に対策を

応について説明し、防災ラジオ無償貸与を村報に掲載。原子力防災対策の充実強化や安全対策の確立に関して、

国に意向を伝えていく。学校では注意点を文書で保護者に知らせ、校内では避難等の行動確認をした。

問 国は原発へのミサイル対策をしていない。村長の考えは。

答 テロ、武力攻撃に

対しては、法体制も含めて強化しなければならないと思う。

問 病院特別会計の 内部留保資金活用

答 計画の策定後具体的な試算を行う

新政とうかい 笹嶋 士郎 議員



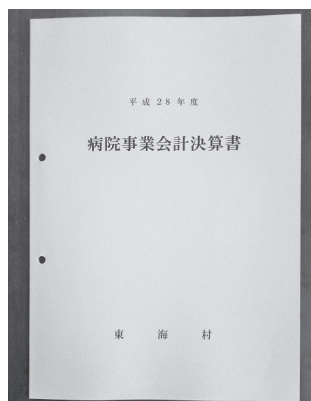
問 病院会計は、独立採算制で行うことが本来の経営である。しかし、新病院経営を民間に委託して10年経過したが、いまだに一般会計より「補助金」「負担金」「出資金」が繰り入れられている。前回の質問で内部留保資金の活用が検討課題となっているが、進捗状況を伺う。

答 検討を開始している。建設から10年経過し、施設や設備等の修繕・更新が必要になっている。現在、「公共

問 建築物長寿命化保全計画」を策定中であり、計画の策定を待って、具体的な試算を行う。

問 新病院開院から13億円も内部留保資金が積み立てられている。一般会計からの繰入金を削減すべき。

答 一般会計からの繰入金は、病院事業会計の運営に必要な財源であり、一定額の繰り入れは必要。しかし、今後の一般会計からの繰入金の方については、調整していく。



病院事業会計決算書